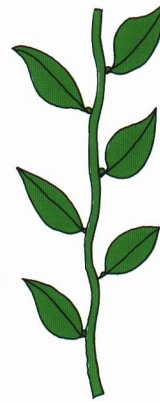


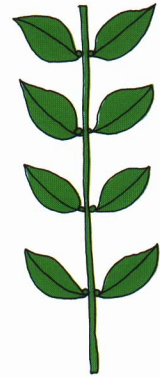
深成岩 (p.62) ……マグマが地下の深い所でゆっくりと冷え固まってできた岩石をいいます。西会津町には花こう岩があります。

針葉樹林 (p.30) ……マツやスギなど、針のように細長い葉をもつ木を針葉樹といいます。針葉樹がたくさんはえている林を針葉樹林といいます。

対生 (p.32) ……2枚の葉が茎の両側に1枚ずつ並んでつく様子を対生といいます。たがいちがいにつくことを互生といいます。



互生



対生

多年草 (p.18) ……地上の部分は1年で枯れてしましますが、根や地下茎などで冬を越し、次の年そこから芽を出すことをくりかえし、何年も生き続ける植物です。

段丘堆積物 (p.60) ……川の両岸や海岸に見られる階段状の平地を河岸段丘や海岸段丘といいます。流水や波のはたらきによって作られ、このときに堆積した地層を段丘堆積物といいます。

地下茎 (p.10) ……地中にある茎のことをいいます。次の年に芽を出すための養分をたくわえ、球形やいもの形にふくらんでいるものを、ふつう球根などとよんでいます。形やつくりによって色々なよび名があります。

地殻変動 (p.60) ……地球内部の大きな力により、海底や陸地などが激しく隆起したり沈降したりする地下の大規模な変動をいいます。この時、地層や岩石に断層やしゅう曲ができたりします。

不完全花 (p.17) ……1個の花には1本のめしべ、その回りにきまった数のおしべ、花びら、がくがついています。このようにつくりの花を完全花、どれか1つでも欠けている花を不完全花といいます。

複葉と小葉 (p.15) ……クローバーやフジの葉のように何枚もの葉に見えるが全体で1枚の葉になっているものを複葉といいます。複葉を組み立てている1個1個を小葉といいます。

苞 (p.7) ……葉の変化したもので、がくのすぐ下についているものです。冬越しの花芽やつぼみをつんで保護する役目をもっています。

胞子 (p.12) ……ふつうの草花の種子(たね)にあたるものです。ワラビやゼンマイ、スギナやキノコなどの仲間は花が咲かず、そのかわり胞子という細かい粉のようなものをまき散らしながらふえていきま